

だれもが充実したいのちを燃やして生きることができるように!

わたしたちは、予防医学を通じて人々の「生涯健康」「健康寿命の延伸」をめざし、健康と福祉の向上に努めることにより、社会に貢献してまいります。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE

2015(平成27)年7月15日 第499号

(公財)東京都予防医学協会
予防医学事業中央会東京都支部

発行人 小野良樹・編集人 山内邦昭

発行所 〒162-8402
東京都新宿区市谷砂土原町1-2
保健会館 電話 03-3269-1131



http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp

毎月15日発行



今月の主な紙面

- (1・2面) ● ストレスチェック制度の開始に当たって 第261回ヘルスケア研修会
- (2・3面(見開き)) ● 職場のメンタルヘルス対策の展望 第88回日本産業衛生学会 教育講演より ● 連載 トピックス 消化器疾患 GERD編(1) ● 連載 健康増進部からの実践!! お役立ち情報(7) どうする!? 個人で職場で 夏の暑さ対策
- (4面) ● がん対策の推進に向けたイベント「がんサミット」が開催 ● 新刊紹介「摂食障害:見る読むクリニック」 ● 小野良樹理事が新理事長に就任一本会

ストレスチェック制度の開始に当たって

第261回
ヘルスケア研修会

改正労働安全衛生法に基づく 制度の狙いや留意点を講演

仕事のストレスなどによってこころの病気に罹る人が後を絶たず、2014年度には精神障害の労災請求件数、認定件数が共に過去最高となった。国は、このような状況に対処すべく昨年6月、「ストレスチェック制度」*を盛り込んだ労働安全衛生法の一部を改正する法律を公布。今年の12月1日から施行される。こうした中、5月27日に開催された第261回ヘルスケア研修会(主催・健康管理コンサルタントセンター、本会)では、「ストレスチェック制度の開始に当たって」その留意点と題して、東京医科大学公衆衛生学分野の小田切優子講師(写真)が講演した。

主眼は1次予防の強化

面接指導の実施を事業者に義務づけるもの」と解説。その上で、制度の基本的なものである」として、メンタル不調者の発見が目的ではないことを強調した。



事業者責任と実施方法

講演の冒頭、小田切講師は、改正後の労働安全衛生法におけるストレスチェック制度(以下、制度)の位置づけについて、「常時使用する労働者に対して、医師や保健師等によるストレスチェックの実施と、その結果、一定の要件に該当する労働者から申し出があった場合、医師による

「この制度は事業者の責任で実施するものである。事業者は実施に当たり、実施計画の策定、当該事業場の実施者または委託先の外部機関との連絡調整及び実施計画に基づいて実施の管理等の実務を担当する者を指名する等、実施体制を整備することが望ましい」と述べた。

職業性ストレス簡易調査票とその短縮版

③職場における他の労働者による支援(周囲のサポート)の3領域を含むものでなければならぬ」とし、「指針では制度の定義について、『調査票を用いて3領域に関する項目の検査を行い、労働者のストレスの程度を点数化して評価すると共に、その評価結果を踏まえて高ストレス者を選定し、医師による面接指導の要否を確認するもの』とされている」と述べた。

小田切講師は検査項目について、①職場における労働者の心理的負担の原因(仕事のストレス要因) ②労働者の心理的負担による心身の自覚症状(心身のストレス反応) 「ただし、既に使われている

*ストレスチェック制度

労働者に対して行う心理的負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)や、検査結果に基づき医師による面接指導の実施などを事業者が義務づける制度(労働者50人未満の事業場は当分の間努力義務)

多くの調査票には版權があったり、無断で使用できないものがある。57項目からなる職業性ストレス簡易調査票は使用に際しては、既に使われている



研修会には大勢の健康管理担当者らが集まり、熱心に耳を傾けていた

個人情報の取扱いについて

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当: 江幡良晴 三輪祐一

お問い合わせ・ご相談は事務局まで(予約制・無料)

健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(公財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール
koho@yobouigaku-tokyo.jp
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。

がん対策の推進に向けたイベント 「がんサミット」が開催

「がん対策加速化プラン」で 取り組みの一層強化を図る

国をあげたがん対策が進む一方で、検診受診率の伸び悩みやタバコ対策の遅れなどにより、がん対策推進基本計画の全体目標である「2015年までに年齢調整死亡率(75歳未満)の20%減少」の達成が困難であることが明らかになっている。こうした中、6月1日、東京・千代田区で開催された「がんサミット」(主催、厚生労働省)では、患者団体や専門家らが一堂に会し、がん対策の一層の加速を主眼に講演や意見交換を行った。



「がんサミット」の開催に当り厚生労働大臣(写真)は、「がん対策基本法の成立から10年たりに挨拶に立った塩崎恭久厚労大臣は、「がんサミット」の節目を前に、国のがん対策に力を入れ直さなければならぬと述べている」と述べ、安倍晋三総理大臣からのメッセージを次のように紹介した。

「本日、私は厚生労働大臣に、『がん対策加速化プラン』を年内を目途に策定し、取り組みの一層の強化を図るよう指示する。」

塩崎大臣は、同プランの3つの柱として、①がん教育やタバコ対策、がん検診などによって予防を強化し、「避けられるがんを避ける」②難治性がんなどの治療・研究を推進し、「死亡数の減少につなげる」③緩和ケア、がん就労の問題などに取り組み、「がんと共に生きる」ことを

支援する一をあげ、具体的な計画を作成する考えを示した。「がんサミット」では、厚生労働省が



第263回ヘルスケア研修会
9月30日(水) 14~16時
東京・千代田区「星陵会館」

腸内常在菌が健康寿命を決める！

対策推進協議会の門田守人会長による基調講演「国のがん対策が目指すもの」、トークディスカッション「患者が求めるがん医療の実現に向けて」(写真)の他、世界禁煙デー特別プロ

第263回ヘルスケア研修会が9月30日(水)、東京・千代田区の「星陵会館」で開催される。「腸内常在菌が健康寿命を決める！大切な腸内環境コントロール」をテーマに、理学研究所の辨野義己特別招聘研究員が講演する。司会は健康管理コンサルタントセンターの齋崎誠幹事。参加費2千円。定員300人(当日先着順)。

新刊紹介

この本は表題に「見る読むクリニック」とあるように、まず付属のDVDを見る、そして著者の話を聴くことである。多くの摂食障害の人たちに実

『摂食障害 見る読むクリニック』

見る読むクリニック

(著) 鈴木眞理
西園マーハ文
小原千郷

次の問題は、この本をいかにして広く世間に知らしめるかである。この点に関しては、著者らの

「本日、私は厚生労働大臣に、『がん対策加速化プラン』を年内を目途に策定し、取り組みの一層の強化を図るよう指示する。」



「がんサミット」の開催に当り厚生労働大臣(写真)は、「がん対策基本法の成立から10年たりに挨拶に立った塩崎恭久厚労大臣は、「がんサミット」の節目を前に、国のがん対策に力を入れ直さなければならぬと述べている」と述べ、安倍晋三総理大臣からのメッセージを次のように紹介した。

小野良樹理事が 新理事長に就任

平成27年度理事会、評議員会開く

東京都予防医学協会の平成27年度第1回理事会が6月12日、本会で開かれた。理事会では北川照男理事長を議長に、平成26年度の事業報告と収支決算、評議員会の招集日について審議が行われ、いずれも満場一致で可決された。

また、6月29日に本会で開催された平成27年度第2回評議員会では、理事会で決議された平成26年度事業報告と収支決算、任期満了に伴う理事・監事選任などに関する審議が行われ、いずれの議案も満場一致で承認された。これをを受けて、6月29日に本会で開催された第2回理事(臨時理事会)では、理事長、専務理事、常務理事などの選定が行われ、次のように新しい役員が決まった(敬称略、順不同)。

理事長 小野良樹(本会健康支援センター長、専務理事 山内邦昭(予防医学事業中央会常務理事)、常務理事 小川登(本会事務局長)、山元健治(本会検査研究センター担当理事)、理事 清水秀人(本会健康教育事業本部長)、大島利彦(本会施設

小児健康相談室のご案内

「大学病院等は混雑していて予約が取りにくい」という声にお応えし
専門医が診療や相談を行っています

検査や診断には費用がかかります(保険診療)。本会で学校検診をお受けになった方は、検査・健診時のデータを用いて診療や相談が可能です。

腎臓病	心臓病	貧血	脊柱側弯症	肥満・コレステロール	思春期やせ症
担当医 村上睦美 日本医科大学 名誉教授	浅井利夫 東京女子医科大学 名誉教授	前田美穂 日本医科大学教授	渡辺航太 慶應義塾大学講師 磯辺啓二郎 元千葉大学教授	岡田知雄 日本大学医学部 客員教授	鈴木眞理 政策研究大学院大学 教授
外来日 第3木曜日 午前	第1木曜日 午後	第1水曜日 午後	第2火曜日 午後 第4水曜日 午後	第3水曜日 午後	第1金曜日 午後

前田美穂先生の 貧血電話相談室

第1水曜日
14時半~15時半
養護教諭、保健師、
看護師からの
相談をお受けします(無料)